



# JCLIFE

www.ojc.or.jp

2011年度社団法人尾道青年会議所テーマ

「若い力」—ロックンロールで行こう—

社団法人尾道青年会議所  
〒722-0035 尾道市土堂2-10-3  
尾道商工会議所ビル3F  
TEL: 0848-20-1110  
FAX: 0848-20-1112  
ojc@urban.ne.jp



8月21日(日)、御調町「尾道ふれあいの里」にて、8月定時総会が開催されました。8月定時総会では、私達尾道青年会議所が社団法人から一般社団法人に移行した後の新定款の案について上程がなされ、無事承認可決されました。一般社団法人に移行した後、私達の根本規範となるものであり無事可決されたのでほっとしています。

## 8月例会・定時総会

尾道ふれあいの里



またこの定時総会で2012年度の理事長として村上伸一君が就任することが承認可決され、次に監事・理事予定者の選挙を行いました。次年度の尾道青年会議所を運営していく役員が決定される場であり、皆さん真剣な表情で投票され、緊張感のある雰囲気で行われました。開票時間中は、毎年恒例の仮入会員の方々の3分間スピーチが行われました。今年の仮入会員の方は、初めての3分間スピーチであるにもか

# 8月例会・定時総会

### 2012年度監事予定者 (2名)

大村 芳弘 君 谷前 秀樹 君

### 2012年度理事予定者 (22名)

村上 伸一 君 (理事長予定者)	
安部昭一郎 君 (新任)	池田 誠 君 (新任)
今川 智弘 君 (新任)	今中 雅浩 君 (重任)
馬原 美晴 君 (重任)	太田 雄介 君 (新任)
河井 茂 君 (重任)	川口宗太郎 君 (新任)
川原 浩太 君 (新任)	榊原 靖貴 君 (新任)
高垣 利将 君 (新任)	檀上 貴晴 君 (重任)
辻 健志 君 (新任)	西本周一郎 君 (重任)
沼田 邦博 君 (新任)	萩原 功 君 (重任)
幡中 幹生 君 (新任)	本多 隆士 君 (新任)
村上 忠正 君 (新任)	村上 弘一 君 (重任)
安本 皇 君 (重任)	

(50音順 敬称略)



わらず、堂々とされつまることなくスピーチをされました。その後、次年度の新監事・新理事の発表があり、次年度の尾道青年会議所を動かしていく役員が決定しました。改めまして、監事予定者・理事予定者の皆様おめでとうございます。



8月24日(水)グリーンヒルホテル尾道において新理事研修が行われました。講師に51代理事長平裕一先輩をお招きし、講演、ディスカッション、発表の3部構成で行われました。第1研修の講演は、テーマを「魅力ある青年会議所のリーダーとはどうあるべきか?」と題し、青年会議所メンバーとして、理事として、リーダーとして「今すべきことを見極める大切さ」「心を開くことの大切さ」「本質を見ることの大切さ」「限界を作らず、持つている魅力を育て、創造することの大切さ」「相手を行動させるための自身の行動の大切さ」について、よく考え、観察し、行動する努力が必要であると、自身の体験も踏まえお話しいただきました。第2研修では、「理想のリーダーとはどうあるべきか?」というお題で、グループに分かれディスカッション



をしました。議論を交わしていると、それぞれの人がよくわかり、青年会議所活動やリーダーとしての想いを感じ、自身の考えとは全く違った新たな発見をすることが出来ました。第3研修は懇親会をしながら、ディスカッションの発表をまとめ、自分の言葉で発表することに、伝えるための努力や工夫、意見をまとめる力の必要性を感じました。この研修を通じ、それぞれが考えるリーダー像を知ることが出来、自身に足りないものがなんであるか?それを補うためにはどのように行動すべきかという事を学ぶことが出来た大変魅力的で有意義な研修でした。

### ●今月のオススメ映画

#### 『八日目の蟬』

監督 成島出 原作 角田光代  
出演 井上真央、永作博美、小池栄子、森口瑠子  
公開期間 9月10日~9月30日

誘拐犯の女と誘拐された少女との逃亡劇と、その後の二人の運命を描いた、角田光代原作のベストセラー小説を映画化したヒューマン・サスペンス。本作に登場する女性たちは、母親として女として、どう振舞えばいいのかが判らずにいる。そんな女性の苦悩を永作博美さん、井上真央さん、小池栄子さんらが逞しく表現しています。

限りなく注ぎ続けた母の愛の美しさ。これには泣かされます。何よりこの映画の素晴らしさは、時代がどう変化しても、どんな状況に置かれようとも、母が子に注ぐ愛情は、強くかけがえのないもので、それがはかないものであればあるほど、その愛はより強く輝きを放つという事を、この映画は私達に力強く訴えているからなのです。母の愛は底知れぬもの。男性の方はぜひ観ておくべき。ハンカチのご準備もお忘れなく。

尾道経済活性化委員会 河本 清順

### ●シネマ尾道上映スケジュール

9/10(土)~9/16(金)	9/17(土)~9/23(金)	9/24(土)~9/30(金)
八日目の蟬 10:30~/15:45~	八日目の蟬 13:40~/18:30~	八日目の蟬 11:00~/15:45~
ダンシング・チャップリン 13:15~/20:00~	木洩れ日の家で 9:40~/11:40~	木洩れ日の家で 9:40~/14:25~/20:00~
100,000年後の安全 18:30~	メアリー&マックス 16:25~/21:10~	メアリー&マックス 16:00~/20:00~
		ヤバイ経済学 18:00~

シネマ尾道 Pres



©2011「八日目の蟬」製作委員会

会場・お問い合わせ シネマ尾道  
住所 尾道市東御所町6-2  
TEL 0848-24-8222  
HP <http://www.cinema-onomichi.com>

### 編集後記

月日が経つのは早いもので8月も終わり、今年の夏を振り返ると本当に色々な経験をさせていたのだと思います。今年度も終盤へと差し掛かり、それと同時に定時総会にて次年度に向けた新たなスタートも切られました。今年度の終盤戦を思い残すことのないように楽しみながら活動し、様々な人と絆を作って、次年度以降に繋げていけたらと思います。9月に入っても残暑が続いていますが、皆様お体には気をつけてながら終盤戦を楽しみましょう。

セクレタリー 安楽城 大作

### 安部昭一郎君、ご長女ご誕生おめでとうございました



お子さんの名前：安部咲季子  
2011年8月17日14時59分に、ご長女が誕生しました。予定日は9月3日でしたが、早く産んでくれました。早く出てほしいと2週間ほど早く出てくれました！食べるの大好きな両親に似て、毎朝ミルクを飲んでます。皆様、これから宜しくお願いします。

# しまなみ音楽フェス

# おのみち寺子屋

8月28日、瀬戸田サンセットビーチにてしまなみ音楽フェス「絆」を開催いたしました。  
 テーマを「絆」とし、多くの方々にしまなみ海道へ来て頂き、しまなみ海道の魅力を感じて頂き、そして全国へ発信していきたいと考え、しまなみ海道のほぼ中心となる瀬戸田サンセットビーチにて音楽フェスティバルを開催いたしました。



RCC中国放送アナウンサーの横山雄二氏に総合司会を務めていただき、13時から手塚理事長のしまなみ海道への思いを込めた挨拶のあと、いよいよライブがスタート。オープニングアクトは海外でも音楽活動をされたLDBの軽快な音楽で始まり、2番手には尾道

大学軽音楽部のSugar Fractureによる重厚なロックが続きました。  
 そのあとは、東日本大震災の被災地である気仙沼の復興に中心的な活動をされている佐藤由美子さんに被災地の現状や復興に向けた取り組みをトークの形でお話しいただきました。その気仙沼とゆかりの強いマウンテンマウスのお二人に気仙沼に向けた愛情にあふれるメッセージソングを披露していただきました。



そして総合司会を横山氏から尾道JC片岡彰一郎君にバトンタッチして、今治のカフェイッシュ、尾道から新開警備隊と大人のムーディーなロックが続き、この音楽フェスに多大なご協力いただいた尾道出身のミュージシャン、

池永憲彦さん率いるプラスティック・オノミチバンドのライブで会場の雰囲気もさらに盛り上がりました。  
 このあとにはNHKてっぺんで鉄平役を務めた森田直幸さんによる自身初のライブ。今フェス一番の黄色い声援の中、初のライブを見事終えられました。トリを務めるのは因島出身のデュオ、ひまわり。熱気とサンセットに会場がつつまれる中、さすがのライブを見せた後に出演者全員による「世界に一つだけの花」と花火でフィナーレを迎えました。

この音楽フェスを通して、音楽の力には人に与える影響力や人伝える力、心に訴えるものがあり、人と人との絆というものを一層深めていくことができる改めて感じました。またこのたびの東日本大震災の被災地気仙沼で震災復興支援活動に取り組んでいる方々にパノ出演や飲食ブース出店、震災に関するパネル展示にて現地の状況やこれからの取り組みを伝えていただき、会場にいられた方々に募金や復興メッセージをいただいで心の復興支援も出来たのではないかと思います。今後もうこうした事業を通して「絆」を作っていけたらと考えます。



## 夏期講習

### 「福祉日本一のまちで～介護について考えよう～」

と正面から向き合い家族の絆を見つめなおしていく心温まる内容です。誰もが気づれ直面させられてしまう家族の死。その前に家族との絆を改めて見つめなおそうと感じさせてくれる映画でした。  
 午後の第二研修では、公立みつき総合病院保健福祉総合施設に場所を移し、施設の管理者の方にご講演いただき、日本一と称される御調の介護の成り立ちと現状を学びました。公立みつき総合病院では山口昇先生の提唱により70年代後半に病院と介護の一元化を推進してきました。患者の望む医療・サービスを広い視点から提供することができ、それを永く培ってきた経験が現在の介護サービスに生きていると伺いました。こうしたシステムが注目を浴び、日本だけでなく各国から研修の方が来られるそうです。先見性とそれを実行



第一研修としてシネマ尾道にて映画「晩秋」を観ました。この映画は家族をテーマとし、主人公である息子が父親の介護や死

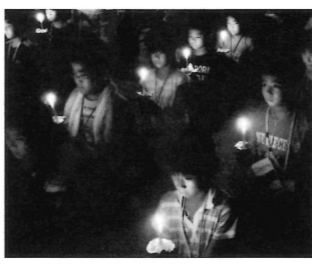
8月20・21日、シネマ尾道、公立みつき総合病院保健福祉総合施設、尾道ふれあいの里にて「福祉日本一のまちで～介護について考えよう～」と題して夏期講習を行いました。

と捉えてはいけないということですが、福祉事業は様々な矛盾を有していると考えていましたが、そうした中で今後の高齢化社会に向けてとても良い勉強をさせていただくことができたいと思います。  
 自分の両親、あるいは従業員の両親など介護と向き合う機会が増えてくると思います。こうした勉強をすることで今後の経済活動の環境づくりにもつながっていくのではないかと思います。



に移す行動力の重要性を改めて感じました。次の日の第三研修では尾道青年会議所OBであり(有)トツツ代表取締役であり、人先輩に講義いただいた。介護事業への参入から現在に至るまでの道のりと、介護に対する姿勢について伺いました。印象に残ったのは決して介護を「商売

持光寺では各々願いを込めてにぎり仏作り。昔ながらの町の銭湯で汗を流して帰山。かき氷や夕食の特製精進カレーに舌鼓を打った後は、神秘的・幻想的な万燈結集が待っていました。



8月26日(金)27日(土)の二日間、渡り、「おのみち寺子屋」が開催されました。尾道市内各地から約40名の小学生の子ども達が西國寺に集まり、6班に分かれまず旧市街地を散策。千光寺では写経・写仏で心を清め、

二日目は早起きして座禅体験で精神統一、そしてわらわら作り。最後は皆で楽しく流しそうめんを堪能しました。  
 二日間現代の生活から離れ、普段なかなか味わえない昔ながらの生活、そして古きよき尾道の町やお寺の歴史を知り、子供達にとっては最高の夏休みのプレゼントになったのではないのでしょうか。当日は天候にも恵まれ、真夏の太陽の下子供達が見せてくれた無邪気な笑顔に癒されました。ご協力頂いた皆様、本当にありがとうございました。

